

人のうごき

平成24年9月届出分を掲載(希望者のみ)

おたんじょう

越智 杜捺^{となつ}ちゃん (尚樹・七恵) 南3の4
 吉川 遼太郎^{りょうたろう}くん (幸夫・麻里) 天売

おくやみ

津田 益央^{えきお}さん 73歳 北大通2
 本田 義明^{よしみ}さん 78歳 北5の4
 旭 美智代^{みちよ}さん 80歳 浜町
 光永 利美^{りみ}さん 84歳 幸町
 柏谷 一則^{いちのり}さん 84歳 幸町
 佐藤 睦^{むつ}さん 81歳 幸町
 三藤 辰雄^{たけお}さん 82歳 南町
 高尾 千代^{ちよ}さん 81歳 南町
 菅原 美枝^{みえ}さん 84歳 焼尻



羽幌町文化協会 会長

稲吉 豊^{とよ}さん (80才・栄町)

好きなことに没頭できる
 文化や芸術は
 こころの癒しです

「陶芸の魅力は到達点がないこと。やればやるほど難しくなっていく。満足のいくものはなかなかできなくてね。でもそれが楽しいから続きます」そう語るのは文化協会会長の稲吉さん。町民芸術祭の実行委員長でもあります。公民館で活動する陶芸の「羽陶会」会長で、成人講座の講師もされています。

「昔から絵画や陶芸を見るのが好きでした。退職を機に、公民館の成人講座で絵画をやりはじめてね。でも陶芸もよさそうと思ってはじめる。すっかりはまってしまいました」会の活動日は週3日。家でも作っていて、今は壺を作ることが多いかな。大きいと1週間くらいかかる。公民館の窯のほか、年2回、小平の登り窯でも焼いているんですよ」

「今年はずいぶん姉妹都市内灘町との文化交流も復活して、10月は内灘町文化協会の30周年記念美術展に羽幌の文化協会から作品を30点以上出品します」と言い、交流のため、協会役員と内灘町訪問も予定。来年は内灘の作品を羽幌で展示して、毎年相互交流を続けようって話しています。今は余裕のない時代だけど、文化に親しむ人の幅が広がってほしい。なによりもこころの癒しになりますから」と穏やかに話してくれました。

編集後記

人口と世帯数(9月末)

人口	7,895人	(-16)
男	3,745人	(-11)
女	4,150人	(-5)
世帯数	3,831世帯	(-7)

()は前月比

